

令和3年度一休さん児童発達支援事業所における自己評価表

(令和4年1月実施分) 【回収率100%】

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点,課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・走り回る為の広いスペース(自由あそびの場とは別に)があるとよいと感じる ・部屋数や広さは狭いとは感じないが見通しが悪い。トイレの数が少ない ・走ったり身体を動かす時に狭さを感じることもある ・面積としては足りているのかもしれないが、活動に合わせて考えると遭わない部分も(玄関スペース、グループ分けで活動するには部屋割りが出来ないなど)
	2	職員の配置数は適切であるか	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によっては全ての職員が個別の支援を行う必要がある為、保育が進められないこともある。 ・その日の子ども的人数やメンバーによって職員の手が欲しい時がある ・保育内容によっては人手が足りないと感じることがある ・配置基準は満たしている。しかし一人一人の特性に合わせて十分な対応を、より様々な経験を考えるとより多い方がいい
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。		100%	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の刺激を必要な子が利用する為のトランポリンやブランコなどを置く部屋などがあるとクールダウン等につながるのではないかと感じる ・入り口はスロープに、室内はフラットになっている。しかし水まわり等は不十分である ・活動によって部屋を使い分けたり、日々の活動の流れを提示したりして少しでも分かりやすく自分で行動に移せるようにしているが、さらに見直しは工夫していきたい ・発達や年齢に応じたクラス分けをしたいが、部屋が足りていないのが現状である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニングを行うためのトイレの数、種類や着脱のスペースが不足していると感じる ・子ども達が走りまわって楽しむ空間はないので、安全に走りまわれるスペースはほしい ・汚物処理のきちんとした洗い場がないので失禁後の後処理に時間がかかる ・清掃はしているが建物が古い
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善にあたっての、問題点の抽出・改善の実行等まだまだ課題が多い
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年アンケート調査を行っている。業務改善につなげていく努力をしたい ・保護者向けアンケートを実施し、結果に必ず目を通し、改善につなげている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・全ての保護者にアンケート結果を配布し、事業所内に掲示を行い、ホームページ上にて公開している。

業務改善	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%	第三者による外部評価現在行っていないが、今後必要に応じて実施を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		100%	今年度については新型コロナの関係で外部研修の多くが中止となり、研修の機会が少ない状況が続いているが、児童虐待防止啓発講演会やオンラインでの研修等の機会が増えており、可能な限り研修の機会を確保している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		100%	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間ごとに個別の保護者面談、モニタリングとアセスメントを行った上で個別支援計画書を作成している ・職員間での意識統一をしながら定期的に保護者との面談を行った上で作成している。ニーズにそえているかどうかは常に保護者とコミュニケーションをとりながら確認していきたい
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		100%	統一したアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。		100%	職員間で案を出し合いながら活動プログラムを作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		100%	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいて支援を行っている ・行っているつもりではあるが、他に方法もあるのではと思う事もある
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか		100%	児童発達支援管理責任者が中心となって、複数名の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施に当たったの準備を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		100%	<ul style="list-style-type: none"> ・常に工夫・新しい取り組み、改善を行ってきたい ・月ごとに月案を立てる職員を変更し、固定化しないように前年度のナ要も振り返りながら立てている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		100%	全体での活動時間は主に集団活動。活動内での個別対応、生活・自立面で個別に考慮して作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		75%	25% <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼を日次で実施し、前日の子ども達の様子や当日の保育内容などについて職員間での情報共有を行うようにしているが、日によってしっかりと行えていない時もある ・不足・反省点は活動後に行うようにしている。以降に活かしていく努力をしたい 【改善目標①】

適切な支援の提供	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		毎日保育の終了後、活動内容の振り返りや子どもの様子、保護者からの伝達等の情報交換を行っている。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		半年に1回、保護者との個別面談を実施し、モニタリングを行っている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		現在、手書きのカルテで、記録の作業に時間をとられている。記録の検証はしているが、改善につながっているかは検証が必要。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		児童発達支援管理責任者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園との併用利用の児童が多い為、保護者了承の上で連絡をとり、お互いに訪問見学等を行い、連携した支援を行うことができるよう取り組んでいる ・必要に応じて地域担当の保健師や相談支援専門員と情報交換を行い、連携した支援を行っている
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要となる場面がまだ実際にはないが、関係機関とはサービス担当者会議等で情報共有を行っている ・現在通所している重症心身障害の子どもが定期的な利用が出来ていない為、そこまでに至っていない
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50%	50%	医療的ケアが必要な場合は、事前に主治医より情報提供を頂き、協力医療機関である法人病院の小児科医が診察し、緊急時に備えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校や特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園との併用利用の児童が多い為、保護者了承の上で連絡をとり、お互いに訪問見学等を行い、連携した支援を行うことができるよう取り組んでいる ・本年度より同じ事業所内で保育所等訪問支援事業が始まったこともあり、より情報共有ができるようになった
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	75%	25%	特別支援学校については、入学前に文書で支援内容等の情報を提供して情報共有に努めているが、学校側からの依頼があった時のみしか行っていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが併用利用している他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所とは担当者会議等を通して連携が取れている ・今年度は市内の児童発達支援センター1ヶ所、児童発達支援事業所1ヶ所を見学させて頂き、非常に貴重な経験となった。今後はさらに研修等の機会をつくっていきたい
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		100%	今年度もコロナの影響で行うことが出来なかったが、同じ法人内の保育所等との交流をまずは行っていきたい。	

関係機関や保護者との連携	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	自立支援協議会への参加は行っていない。大分市要保護児童対策地域協議会が主催する「子育て支援・児童虐待防止啓発講演会」には毎年職員が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	<ul style="list-style-type: none"> 登園時や降園時、おたより帳、面談を通して連絡をとっている。しかし、保護者から発しづらい声もあると思うので配慮したい 朝の子どもの受け取り時やお迎えの際など保護者とコミュニケーションをとれる時間を大事にしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%	<ul style="list-style-type: none"> 支援を行っているつもりだが、今の方法で良いのかどうか、自分自身の知識ももっと深める必要があると感じている 朝の子どもの受け取り時や面談、お迎えの際などに保護者と話す機会を持ち、悩みなどを聞くなどして努力しているが十分ではないと感じる <p>【改善目標②】</p>
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	契約時に書面にて説明を行い、変更があった場合には都度説明を行っている。また、事業所内に重要書類を掲示している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	計画書を示し、説明を行い、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	半年に1回個別面談を実施し、それ以外にも随時面談や電話等の方法で相談に応じている。保護者の気持ちや意向にそうすることができるよう配慮していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	<ul style="list-style-type: none"> 一昨年度までは2ヶ月に一回程度、保護者のお茶会を催し、保護者同士の交流の場として支援し、学校見学会や就労支援事業所の見学会、講師の方をお招きしての座談会等も開催していたが、昨年度に引き続き、今年度もコロナの関係で中止しているが、状況をみながら再開していく予定 親子通所の音楽療法や親子行事などで保護者同士が関わる機会は持っている
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	事業所内に苦情受付・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整え、頂いた苦情については迅速に対応している。今後も努力していきたい。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	月に1回広報誌を作成し、情報発信を行っている。 【改善目標③】	

保護者への説明責任等	38	個人情報に十分注意しているか	100%		個人情報が記載された書類は全て職員室にて厳重に保管し、個人情報が記載された文書を処分する場合は必ずシュレッダー処理を行っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		文書や電話、メール等様々な方法で確実に情報伝達できる様配慮しているがまだまだ十分とはいえない。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%	コロナの影響以外にも、事業所が狭い等の課題も多く、現状としては行っていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		防災マニュアル、緊急時対応及び感染症対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、災害時の連絡方法や一時避難先等については年に1回プリントでお知らせしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		定期的に地震・火災・水害・不審者対応の避難訓練を実施しているが、回数的に不十分である。 【改善目標④】
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%		利用開始にあたってのアセスメント時の他に、新たに疾患を発症した際は、保護者より情報を頂いている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		100%	現在は対象となる児童がいないが、利用開始にあたって事前にアレルギーの有無についての確認を行っている。アレルギー対応が必要な場合は、事前に主治医より情報提供を頂き、協力医療機関である法人病院の小児科医が診察し、アナフィラキシー等の緊急時に備えている。また、食養課の管理栄養士とも情報共有を行っている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		ヒヤリハット・事故報告書綴りを作成し、常時職員が閲覧できる様にしているが、事例集にできるだけの報告数がない。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		毎年市が主催する虐待防止研修会に必ず職員をローテーションで派遣し、職場内研修も毎年実施している。また、今年度より事業所内に「虐待防止委員会」を新たに設置し、指針を作成した。本格的な活動は来年度からスタートさせる予定である。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		100%	過去7年以上現在に至るまで身体拘束を行った事例がないが、今年度より新たに設置した「虐待防止委員会」が中心となり、作成した指針に基づいて、万が一に備えていく。

【改善目標①】 毎日の活動後のミーティング時に、子どもひとりひとりの様子や保護者からの連絡事項、ヒヤリハット報告等について詳しく記載する様式を、個人の記録とは別に作成し、月単位でその内容をまとめていきながら、その後の保育に活かしていくことができる流れを作っていく。

【改善目標②】 職員全体のスキルアップを目指し、ペアレントトレーニングについての知識と実践力をつけていくことができる様、オンライン等の方法も含めた研修機会を確保する。

【改善目標③】 来年度は、ホームページの内容を見直し、定期的な更新を確実にやっていく。

【改善目標④】 現在、地震・火災・水害・不審者対応の避難訓練を年間で計8回実施しているが、曜日によって利用する児童が異なり、集団としての様子にも違いがある為、特に地震と火災については、どの曜日も定期的に偏りなく訓練が実施できる様、来年度は実施回数を増やす方向で計画していく。